



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

委員会集会

1月31日(火)にリモートにて委員会集会が行われました。今回は飼育委員会と環境委員会です。

飼育委員会では、学校で飼っている金魚のどうじろうの名前の由来や餌のあげ方や量について、また、うさぎのクロについての説明がありました。でも、ただ説明するのではなく、クイズ形式や劇を通して、みんなが参加しながら楽しく理解できるように発信していました。2月15日と22日にクロと触れ合う時間も企画しているとのことでした。子供たちに大人気の触れ合い活動。また、様子をお伝えしていきたいと思います。

環境委員会では、リサイクルペーパーとは何か、リサイクルペーパーの対象となる紙の説明、掲示物の扱いや池についてのお願ひ等クイズ形式や劇を通して、発信していました。感熱紙はリサイクルペーパーにはできないという説明の際、感熱紙には、指で筋をつけると黒くなる特徴があるという説明を聴き、2年生の子供が、教室に貼ってある掲示物の一部が感熱紙であることを理解していました。2年生の学びに繋がったすばらしい瞬間でした。

ドッジボール大会

2月2日(木)からドッジボール大会が始まりました。「今日は、ドッジボール大会がある。」と目を輝かせながら子供たちが朝から話しかけてきます。中休みや昼休みになると、思いきり校庭に向かって嬉しそうに走って行く子供たち。試合中は、お互いに声を

かけ合ったり、仲間がボールをキャッチすると自然と拍手が起こったりと子供たちのすてきな姿が目を引きまします。ドッジボール大会に向けてクラスが一つになって取り組もうとする姿、取り組む中で気持ちが一つに高まっていく姿は、見ていてすばらしいことだと思います。

このドッジボール大会は、体育委員が計画し、準備し、当日も含めて運営を行っています。ボールやコートへの準備、試合をする人たちへの声かけ、結果発表等、ドッジボールをする上で必要な仕事について、しっかりと取り組んでいる姿は立派でした。また、コート周囲にゼッケンをつけた体育委員の子供たちが立っていて、遠くに転がってしまったり、飛んでいったりするボールを素早く止めて試合中の人たちに渡していました。試合をしている人たちからすると、試合に充てられた限られた時間を十分使いたいと思いますから、体育委員の子供たちがコート周囲に立って、手早くボールを渡すことは、大変有難いことになりました。

自分の担う役割の中で、気付いたことをお互いに伝え合うことで、新たな力が生み出されてきていると感じます。自分一人ですることは小さなことですが、自分の気付きを表現し合い、多くの力を出し合うことで大きな力になり、実現できていく幅が広がっていくと考えます。仲間と協働して新たなものを創造していく体験を積み上げていくことを通して、一人一人の生きる力を育てていきたいと思っています。